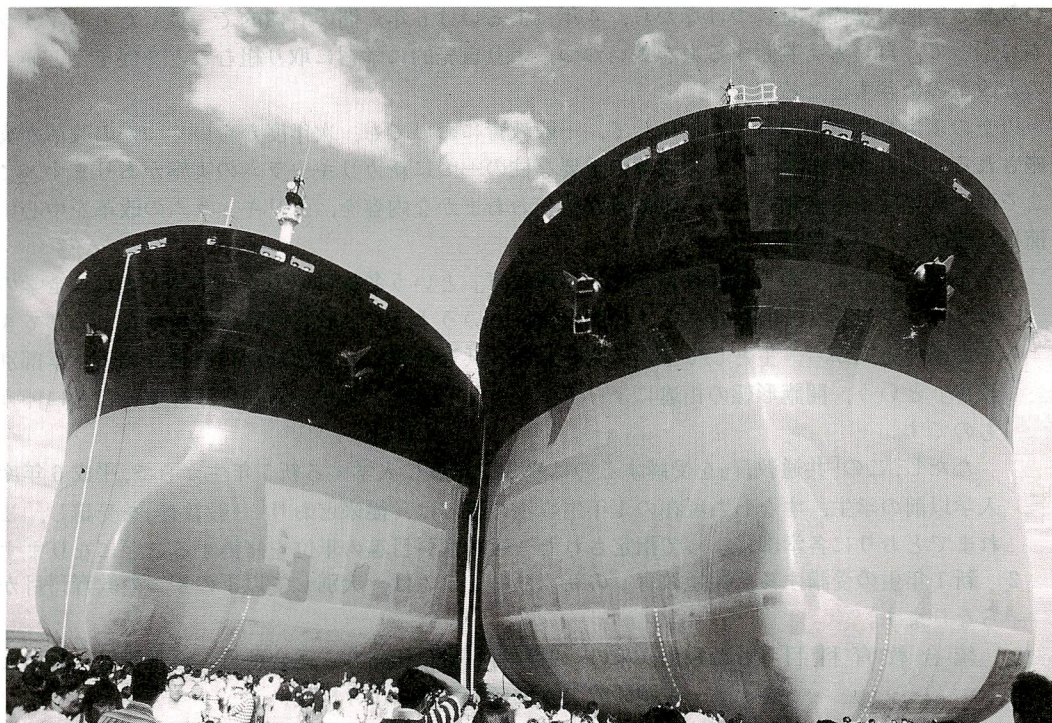


一般教育通信

No. 23

1995. 1. 30 発行
三重大学一般教育委員会



人文学部助教授 稲賀繁美

目 次

| |
|---|
| 平成7年度から実施される一般教育 改革について…一般教育教務委員会……2 |
| 授業科目読み替えの対応表……3 |
| 一般教育特別講演会が終わって……8 |
| 13時00分付けのレシート —講演会裏方の記録— 田中 晶善……8 |

聴衆者の声

| |
|--|
| 「バッハ音楽に聴く現代世界へのメッセージ —ライブツイヒへのデビューをめぐっ て—」を聴いて……川口真紀子……9 |
| 平成7年度共通(一般)教育行事日程……10 |

平成7年度から実施される一般教育改革について

一般教育教務委員会

三重大学では、いよいよ平成7年度から、全学的な規模の教育改革が本格的にスタートします。この教育改革は、三重大学と各学部の特徴ある伝統を活かしながら、教育と研究の両面において、大学をさらに活性化させようとするものです。教育面においても、学生一人ひとりが、幅広く深い教養と学問の基礎を身につけながら、4年（あるいは6年）間の有機的で一貫したカリキュラムに沿って、自ら考え判断する力を養いつつ、より自発的に学習に取り組むことを促そうというのが改革のめざすところです。

以上のような改革の理念をもとにして、一般教育においても、次年度からいくつかの改革が実施されることとなりますが、その改革の重要な柱の一つに新カリキュラムの実施があります。ここでは、次年度から実施される一般教育改革のおおまかな内容を、カリキュラムの改革を中心に簡単に説明したいと思います。

- 1 まず、これまでの「一般教育」は「共通教育」という名称に変更されます。これは全学のカリキュラムを「一般教育」と「専門教育」というように、教育内容の観点から二分してきた従来の方式から、主として全学に開かれた「共通教育」と各学部別に開講される「学部別教育」という、開講形態の相違によってカリキュラムを二分する方式に移行することに伴うものです。

ただし、この「共通教育」を受講するのは平成7年度に入学する新1年生からで、平成6年度入学以前の学生、すなわち現在の1年生以上の諸君は、従来どおり「一般教育」を受講し、これまでどおりに各学部によって指定された一般教育科目等の単位を修得することになります。

- 2 新1年生の受講する「共通教育」の新カリキュラムは、大別して以下の4つの教育科目からなります。

統合教育科目（おおむね従来の一般教育科目に相当し、総合科目・通常科目・共通セミナー・主題研究の4種類の形態により構成）

外国語教育科目（既習外国語[英語]・未習外国語[ドイツ語・フランス語・中国語等]）

保健体育教育科目（スポーツ健康学実習・スポーツ健康学概論・スポーツ実習）

基礎教育科目（主として理系基礎科目）

- 3 従来の「一般教育科目等」の科目は、これまでどおり開講されます。ただし、「共通教育」と同一の授業でありながら、授業科目名は「共通教育」のそれとは異なっているというような科目例がいくつかあります。これも心配は無用です。新1年生用の『共通教育履修案内』とは別に、現在の1年生以上の諸君用の『一般教育履修案内』を配布し、そのなかに「共通教育と一般教育の授業科目対応表」を掲げますので、必要に応じてそれを参考にしてください。（次掲の「授業科目読み替えの対応表」を参照のこと）

- 4 なおまた、共通（一般）教育をふくむ全学レベルの教育改革の一環として、次年度からは90分5コマ制の時間割が導入されます。より受講しやすい時間割と有機的なカリキュラムの配置によって、教育効果をさらに向上させようというのがこの時間割改善の趣旨です。参考までに、次年度からの時間割は以下ようになります。

1・2限（1コマ目） 8：50～10：20

3・4限（2コマ目） 10：30～12：00

5・6限（3コマ目） 13：00～14：30

7・8限（4コマ目） 14：40～16：10

9・10限（5コマ目） 16：20～17：50

次年度から実施される一般教育改革のあらまは以上のとおりです。このように、現在すでに三重大で学んでいる諸君にとっては、時間割の変更こそがまずは関心のあるカリキュラム上の変化といえます。ただし、冒頭に述べた教育改革の理念と、その実現に向けての全学的な取り組みそのものは、もちろん諸君にとっても大きな意味をもっています。なぜなら、カリキュラムの刷新はたしかに教育上の大きな枠組みの変更を意味することは間違いないのですが、教育改革には、建物やカリキュラムというハード・ソフト両面にわたる改善とともに、なによりも三重大において働き、学び、教える、職員と学生と教官が一体となって、新たな自覚のもとに、着実に実現への道を歩んでゆくことが求められるからです。今後とも、諸君の声を少しでも多く反映させながら、実りある一般教育改革をめざしたいと考えています。

授業科目読み替えの対応表

（太字の授業科目については2年生用指定科目として
平成7年度に限り、そのままの名称で開設する。）

| 分野 | 改正後の授業科目等 | | 改正前の授業科目等 | | |
|--------|-----------|-------|-----------|-------|---|
| | 授業科目 | 開講単位数 | 授業科目 | 単位数 | |
| 人 | 哲学Ⅰ | 2 | 哲学Ⅰ | 2 | |
| | 哲学Ⅱ | 2 | 哲学Ⅱ | 2 | |
| | 倫理学 | 2 | 倫理学 | 2 | |
| | 宗教学 | 2 | 宗教学 | 2 | |
| 文 | 日本史Ⅰ | 2 | 日本史Ⅰ | 2 | |
| | 日本史Ⅱ | 2 | 日本史Ⅱ | 2 | |
| | 日本史Ⅲ | 2 | 日本史Ⅲ | 2 | |
| | 東洋史Ⅰ | 2 | 東洋史Ⅰ | 2 | |
| | 東洋史Ⅱ | 2 | 東洋史Ⅱ | 2 | |
| | 西洋史Ⅰ | 2 | 西洋史Ⅰ | 2 | |
| | 西洋史Ⅱ | 2 | 西洋史Ⅱ | 2 | |
| | 西洋史Ⅲ | 2 | 西洋史Ⅲ | 2 | |
| | 分 | 日本文学Ⅰ | 2 | 日本文学Ⅰ | 2 |
| | | 日本文学Ⅱ | 2 | 日本文学Ⅱ | 2 |
| 日本文学Ⅲ | | 2 | 日本文学Ⅲ | 2 | |
| 日本の言語 | | 2 | 日本の言語 | 2 | |
| 日本学 | | 2 | 日本学 | 2 | |
| 日本語表現法 | | 2 | 日本語表現法 | 4 | |
| 芸術学美術論 | | 2 | 芸術学美術論 | 2 | |
| 音楽文化論 | | 2 | 音楽文化論 | 2 | |
| 野 | 音楽学概論 | 2 | 音楽学概論 | 2 | |
| | 比較文化 | 2 | 比較文化 | 2 | |
| | 総合科目 | 2 | 総合科目 | 2 | |

| 分野 | 改正後の授業科目等 | | 改正前の授業科目等 | |
|------------------|-----------|--------|-----------|-----|
| | 授業科目 | 開講単位数 | 授業科目 | 単位数 |
| 社 会 分 野 | 日本国憲法 | 2 | 日本国憲法 | 2 |
| | 法学概論 | 2 | 法学概論 | 2 |
| | 共通セミナーZ | 2 | 法学特論 | 2 |
| | 政治学Ⅰ | 2 | 政治学Ⅰ | 2 |
| | 政治学Ⅱ | 2 | 政治学Ⅱ | 2 |
| | 政治学Ⅲ | 2 | 政治学Ⅲ | 4 |
| | 共通セミナーZ | 2 | 政治学特論 | 2 |
| | 経済学Ⅰ | 2 | 経済学Ⅰ | 2 |
| | 経済学Ⅱ | 2 | 経済学Ⅱ | 2 |
| | 経済学Ⅲ | 4 | 経済学Ⅲ | 4 |
| | 教養社会学Ⅰ | 2 | 教養社会学Ⅰ | 2 |
| | 教養社会学Ⅱ | 2 | 教養社会学Ⅱ | 2 |
| | 教養文化人類学Ⅰ | 2 | 教養文化人類学Ⅰ | 2 |
| | 教養自然地理学Ⅰ | 2 | 教養自然地理学Ⅰ | 2 |
| | | | 教養自然地理学Ⅱ | 2 |
| | 教養人文地理学Ⅰ | 2 | 教養人文地理学Ⅰ | 2 |
| | | | 教養人文地理学Ⅱ | 2 |
| | 一般教育学 | 2 | 一般教育学 | 2 |
| 心理学Ⅰ | 2 | 一般心理学Ⅰ | 2 | |
| 心理学Ⅱ | 2 | 一般心理学Ⅱ | 2 | |
| 総合科目 | 2 | 総合科目 | 2 | |

| 分野 | 改正後の授業科目等 | | 改正前の授業科目等 | |
|------------------|-----------|----------|-----------|-----|
| | 授業科目 | 開講単位数 | 授業科目 | 単位数 |
| 自 然 分 野 | 数学の話題からⅠ | 2 | 数学 A・D | 2 |
| | 数学の話題からⅡ | 2 | 数学 A・D | 2 |
| | 数学の話題からⅢ | 2 | 数学 A・D | 2 |
| | 数学の話題からⅣ | 2 | 数学 A・D | 2 |
| | 基礎微分積分学 | 2 | 数 学 D | 2 |
| | 基礎線形代数学Ⅰ | 2 | 数 学 B | 4 |
| | | | | |
| | 基礎微分積分学Ⅰ | 2 | 数 学 C | 4 |
| | | | | |
| | 統計学入門 | 2 | 数理統計学 | 2 |
| | 数値計算と統計処理 | 4 | 数値計算と統計処理 | 4 |
| | 情報科学概論 | 2 | 情報科学概論 | 2 |
| | 物理の話題から | 2 | 物理学〈文系〉B | 2 |
| | | | 物理学〈文系〉C | 2 |
| 基礎物理学Ⅰ | 2 | 物理学〈理系〉A | 2 | |

| 分野 | 改正後の授業科目等 | | 改正前の授業科目等 | |
|------|-----------|-------|-----------|-----|
| | 授業科目 | 開講単位数 | 授業科目 | 単位数 |
| 自 | 基礎物理学Ⅱ | 2 | 物理学(理系) B | 2 |
| | 基礎物理学Ⅲ | 2 | | |
| | 物理学実験 | 1 | 物理学実験 | 1 |
| | 化学の話題から | 2 | 化学 A | 2 |
| | | | 化学 B | 2 |
| | 環境と化学 | 2 | 化学 A | 2 |
| | | | 化学 B | 2 |
| | 化学Ⅰ | 2 | 化学 C | 2 |
| | 化学Ⅱ | 2 | | |
| | 化学Ⅱ | 2 | 化学 D E | 2 |
| 化学Ⅲ | 2 | | | |
| 化学実験 | 1 | 化学実験 | 1 | |
| 然 | 生物の話題から | 2 | 生物学 A | 2 |
| | | | 生物学 B | 2 |
| | 環境と生物 | 2 | 生物学 A | 2 |
| | | | 生物学 B | 2 |
| | 生物学Ⅰ | 2 | 生物学 C | 2 |
| | 生物学Ⅱ | 2 | | |
| | 生物学Ⅰ | 2 | 生物学 E | 2 |
| | 生物学Ⅳ | 2 | | |
| | 生物学Ⅲ | 2 | 生物学 D | 2 |
| | 生物学実験 | 1 | 生物学実験 | 1 |
| 野 | 教養地学Ⅰ | 2 | 教養地学 A | 2 |
| | 教養地学Ⅱ | 2 | 教養地学 B | 2 |
| | | | 教養地学 D | 2 |
| | 教養地学Ⅲ | 2 | 教養地学 C | 4 |
| | 自然科学概論Ⅰ | 2 | 自然科学概論Ⅰ | 2 |
| | 自然科学概論Ⅱ | 2 | 自然科学概論Ⅱ | 2 |
| | 図学概論 | 2 | 図学概論 | 2 |
| | 環境科学 | 2 | 環境科学 | 2 |
| | 総合科目 | 2 | 総合科目 | 2 |

| 分野 | 改正後の授業科目等 | | 改正前の授業科目等 | |
|-------|-----------|-------|-----------|-----|
| | 授業科目 | 開講単位数 | 授業科目 | 単位数 |
| 外国語科目 | 英語Ⅰa | 1 | 英語Ⅰ | 1 |
| | 英語Ⅰb | 1 | | |
| | 英語Ⅱa | 1 | 英語Ⅱ | 1 |
| | 英語Ⅱb | 1 | | |
| | 英語Ⅱc | 1 | | |

| 分野 | 改正後の授業科目等 | | 改正前の授業科目等 | |
|------------|-----------|-------------|-----------|-----|
| | 授業科目 | 開講単位数 | 授業科目 | 単位数 |
| 外 | ドイツ語Ⅰa | 1 | ドイツ語文法Ⅰ | 1 |
| | | | ドイツ語講読Ⅰ | 1 |
| | | | ドイツ語初級Ⅰ | 1 |
| | ドイツ語Ⅰb | 1 | ドイツ語文法Ⅱ | 1 |
| | | | ドイツ語講読Ⅱ | 1 |
| | | | ドイツ語初級Ⅱ | 1 |
| | ドイツ語Ⅱ | 1 | ドイツ語Ⅲ | 1 |
| | ドイツ語会話Ⅰa | 1 | ドイツ語会話初級Ⅰ | 1 |
| | ドイツ語会話Ⅰb | 1 | ドイツ語会話初級Ⅱ | 1 |
| | ドイツ語会話Ⅱ | 1 | ドイツ語会話中級Ⅰ | 1 |
| ドイツ語会話中級Ⅱ | | | 1 | |
| 特別ドイツ語 a | 1 | 特別ドイツ語Ⅰ | 1 | |
| 特別ドイツ語 b | 1 | 特別ドイツ語Ⅱ | 1 | |
| インテンシブコースⅠ | 1 | インテンシブコース初級 | 2 | |
| インテンシブコースⅡ | 1 | インテンシブコース中級 | 2 | |
| 語 | フランス語Ⅰ文法 | 1 | フランス語Ⅰ文法 | 1 |
| | フランス語Ⅰ講読 | 1 | フランス語Ⅰ講読 | 1 |
| | フランス語Ⅱ | 1 | フランス語Ⅱ | 1 |
| | フランス語Ⅲ(A) | 1 | フランス語Ⅲ(A) | 1 |
| | フランス語Ⅲ(B) | 1 | フランス語Ⅲ(B) | 1 |
| フランス語Ⅲ(C) | | | 1 | |
| 科 | 中国語Ⅰ | 2 | 中国語Ⅰ | 2 |
| | 中国語Ⅱ | 2 | 中国語Ⅱ | 2 |
| | 中国語講読 | 2 | 中国語講読 | 2 |
| | 中国語会話 | 2 | 中国語会話 | 2 |
| | ロシア語Ⅰ文法 | 2 | ロシア語Ⅰ文法 | 2 |
| | ロシア語Ⅰ講読 | 2 | ロシア語Ⅰ講読 | 2 |
| | 朝鮮語文法 | 2 | 朝鮮語文法 | 2 |
| | 朝鮮語講読 | 2 | 朝鮮語講読 | 2 |
| | ラテン語 | 1 | ラテン語 | 1 |
| | ギリシア語 | 1 | ギリシア語 | 1 |
| 目 | スペイン語 | 1 | スペイン語 | 1 |

| 分野 | 改正後の授業科目等 | | 改正前の授業科目等 | |
|----------------|------------|-------|-----------|-----|
| | 授業科目 | 開講単位数 | 授業科目 | 単位数 |
| 保健 体育 科目 | スポーツ健康学実習Ⅰ | 1 | 体育実技Ⅰ | 2/3 |
| | スポーツ健康学実習Ⅱ | 1 | 体育実技Ⅱ | 2/3 |
| | スポーツ実習Ⅰ | 1 | 体育実技Ⅲ | 2/3 |
| | スポーツ実習Ⅱ | 1 | | |

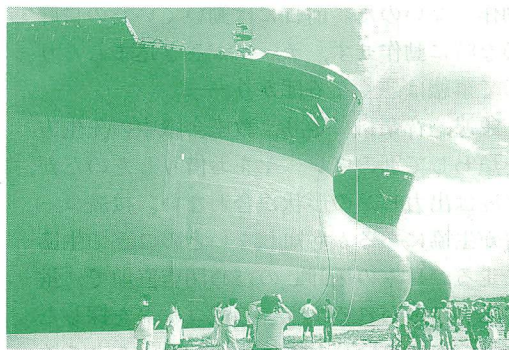
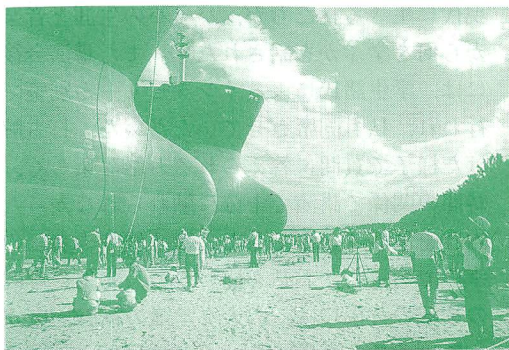
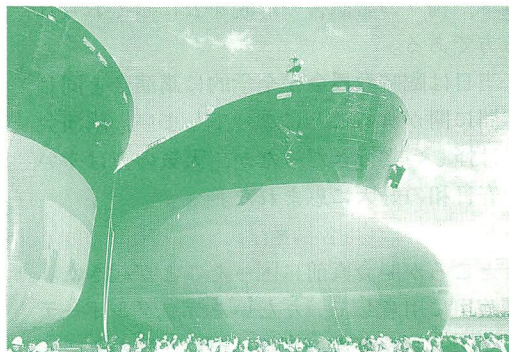
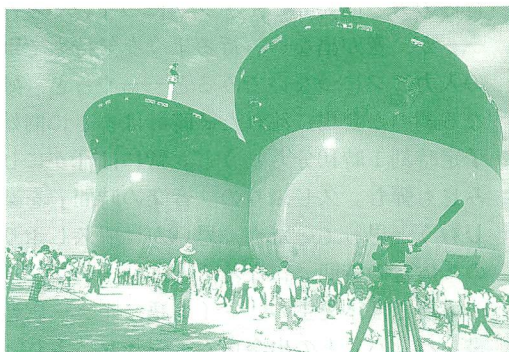
| 分野 | 改正後の授業科目等 | | 改正前の授業科目等 | |
|--------|-----------|-------|-----------|-----|
| | 授業科目 | 開講単位数 | 授業科目 | 単位数 |
| 保健体育科目 | スポーツ健康学概論 | 2 | 体育理論 | 2 |
| | 健康科学 | 2 | 健康科学 | 2 |

| 分野 | 改正後の授業科目等 | | 改正前の授業科目等 | |
|-----------------------------|-----------|-------|-----------|-----|
| | 授業科目 | 開講単位数 | 授業科目 | 単位数 |
| 日本語・ 日本事情 (留学生 対象) | 日本語講読 | 1 | 日本語講読 | 1 |
| | 日本語会話 | 1 | 日本語会話 | 1 |
| | 日本事情 | 2 | 日本事情 | 2 |

*

*

*



一般教育特別講演会が終わって

さる11月30日(水)標記特別講演会が開かれました。講師に恵泉女学園大学教授(東大名誉教授)杉山好氏を迎え、当日予期せぬこともありましたが、約100名の聴衆者やその後の学生のインタビューも含め内容ある一日でした。

13時00分付けのレシート

— 講演会裏方の記録 —

田中 晶善

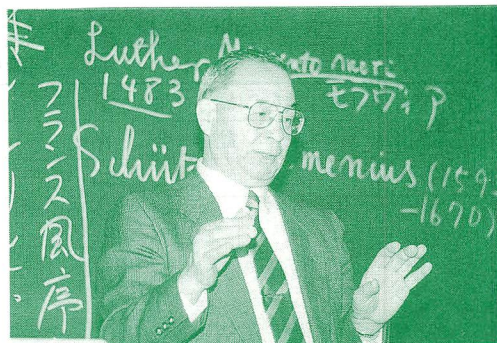
一般教育特別講演会が、11月30日午後、杉山好先生をお迎えして、『バッハ音楽に聴く現代世界へのメッセージ』との演題の下に行われた。先生は、アルバート・シュパイターの名著『バッハ』を若き日に共訳されて以来、バッハ研究をライフワークの一つとされて、種々の著訳書や解説を公にしておられる方である。

当日は臨時教授会が全学的に講演会と同じ時間に開かれることになってしまい、講演会には怪しい雲行きだったが、天気の方は幸い小春日和の好天に恵まれた。

*

ところが開会直前に困ったことが起きた。講演用に用意していただいたデジタルオーディオテープを会場のプレーヤにかけたところ、動作しないのだ。前日には動いていたのに肝心の時に動作せず、テープが巻き込まれたりして事態は悪くなるばかり——

急遽、音楽科に走り、教室会議中の先生方を煩わして別のプレーヤをお借りしたのだが、今度は出力ピンの形状が合わない。接続コードが生協にあるかも知れないとのことで生協に走る。月末の棚卸しのため閉店直前で、「蛍の光」に追われるように接続コードを探したが見つからない。万事休す、と思ったところ、「正門近くの電気屋さんにあるかも」という店員さんのアドバイス。一般教育係へ駆け戻って自転車を借り、国道向こうの電気店へ急いだ。幸い適当なコードが見つかり、13時00分の記録の残るレシートと共にポケットにつ



(▲特別講演会講師 杉山 好氏)

っこみ、再び会場へとペダルを漕ぐ。一般教育係の方と協力して、アンプにつないでみた——が、音が出ない。祈るような気持ちで別の入力ピンにつないでみると——やっと、妙な調べが会場に流れた！時計はまさに開始予定時刻1時10分ちょうど。背には汗がにじみ息も弾む。久しぶりの「音楽の時間」を楽しもうと思っていたが、思いがけず久しぶりの「体育の時間」になろうとは——。

講演では、先生の「ドイツ語、ルター訳聖書、バッハ」との出会いから説き起こされ、現代に生きる私たちが、バッハの生涯と音楽から何を学ぶかを話された(*)。また講演会後には、学生諸氏によるインタビューが別室で行われ、私も同席させていただいた。打ち解けた様子で質問に答えられるお話は楽しく、時間の関係で講演で十分に触れられなかった内容を伺うことができたのは「残りの者」の幸いであった。お話を伺いつつ、先生の専門の業績の背後には、広大な学識の裾野が広がっていることを思った。インタビュー最後の、三重大大学の印象についての質問に対して、伊勢湾に接した三重大学を「真理の大海に臨む大学」と言われたのが印象的であった。(そうありがたいものである！)「バッハは小川ではなく大海である。」という言葉があるが、今

回の講演会は小川の^{バッハ}話に始まるお話が真理の大海に流れ込んで幕を閉じることになった。

*

神学者カール・バルトのモーツァルト好き・バッハ嫌いは欧米では有名な話らしい。私事で恐縮だが、学生時代からバルトに私淑し、しかしバッハも好きだった私は、どちらにも忠実でないような後ろめたい気持ちを持っていた。数年前、その“バルトの呪縛”から解放する話をしてくださったのが、杉山先生である。その時の情熱的なお話をも想起しつつ、今回の講演会の準備をさせていただいた。

カンタータ《もろもろの天は神の栄光を語り》を聴き、思いを天に馳せつつあった時、通奏低音ならぬ“通俗騒音”が会場に突然鳴

り響くという不手際もあって身の縮む思いをしたが、聖と俗を一つに生きた天なるバッハと共に、講師・聴衆の皆様にはお許しいただけるものと思う。貴重なお話をしてくださった杉山先生、講演会の準備に尽力いただいた一般教育係の方々、“窮地”を助けていただいた音楽科の先生方、そして書籍販売に協力くださった三重大学生協に感謝の意を表したい。

* 今回の講演内容と関連の深い論文2編の別刷りとテープを講師から戴いています。関心をお持ちの方は田中までご照会ください。

(教育学部・助教役)

聴衆者の声

「バッハ音楽に聴く現代世界へのメッセージ ——ライプツィヒへのデビューをめぐる——」を聴いて

川口真紀子

11月30日、恵泉女学園大学教授の杉山好氏による特別講演会に出席した。演題から想像する限り、高校での音楽の授業以来、クラシックとまともに接したことの無いこの私にとっては、少々理解し難い内容のものではないかと不安に思っていたが、実際そうであった。しかし、講演全体を通じて、氏のバッハやルターに対する思いの入れ様が伝わってきて、それとともに、それまで私の中では有名作曲家の中の一人としてしか存在しなかったバッハや、世界史で覚えただけのルターの、一個人としての姿が少し分かったような気がする。

バッハは敬虔なクリスチャンだった。彼はルターの聖書のドイツ語訳を参考に、いくつものカンタータを作り上げた。当時のキリスト教信者は、毎週日曜日に祝祭日に彼の演奏するカンタータを聴くことができたというのだから、なんと恵まれていたのだろう。詩の内容はキリスト教信者でない私にとっては多

少理解に苦しむが、聴いているだけでも心が安らぐ。今回は時間の都合で第76番の一部しか聴くことができなかったが、そう思った。

また彼の作品は、というよりクラシック全体がそうなのかは分からないが、奥が深い。例えば今回聴いた中のシンフォニアにしてもオーボエ・ダモーレが父なる神の愛を表し、ヴィオラ・ダ・ガンバがキリストの十字架を象徴し、通奏低音が神の精霊を表し、その三つがいわゆる三位一体を表すなど、他にも調べや拍子にまでそれぞれ意味が込められていて彼の配慮の細かさに驚いた。

今回の講演で、趣旨を的確に捕えられたかどうかは自信がない。しかし、改めていうまでもないが、クラシックもたまにはいいものであると、実感することができた。

(人文学部 1年)

